

行政視察報告 熊本市視察

視察日：平成30年5月8日（火）
厚生文教委員会

熊本市視察項目

- 小中学校の部活動の社会体育移行について

本市においても、3月定例会において発信された「教育方針」では、小中学校の陸上大会や水泳大会、合唱交歓会の廃止が決まっている。近隣では名古屋市が小学校の部活動の廃止を決め、社会全体として「義務教育間の部活動のあり方」については、教師の働き方改革などの後押しもあり、積極的な風潮です。そんな中、熊本市では来年度より、部活動の一部廃止と社会体育への移行を進めており、その経過や実績などが今後新城市でも起きるであろう部活動廃止に向けて参考にできると考えて視察先に提案しました。

熊本市の取組方針

1. 小学校の運動部活動は、学童期にふさわしい**無理のない適度なもの**とする。
2. 学校教育活動の一環として**小学校体育連盟の主催及び共催の大会にのみ**に参加できることとする。

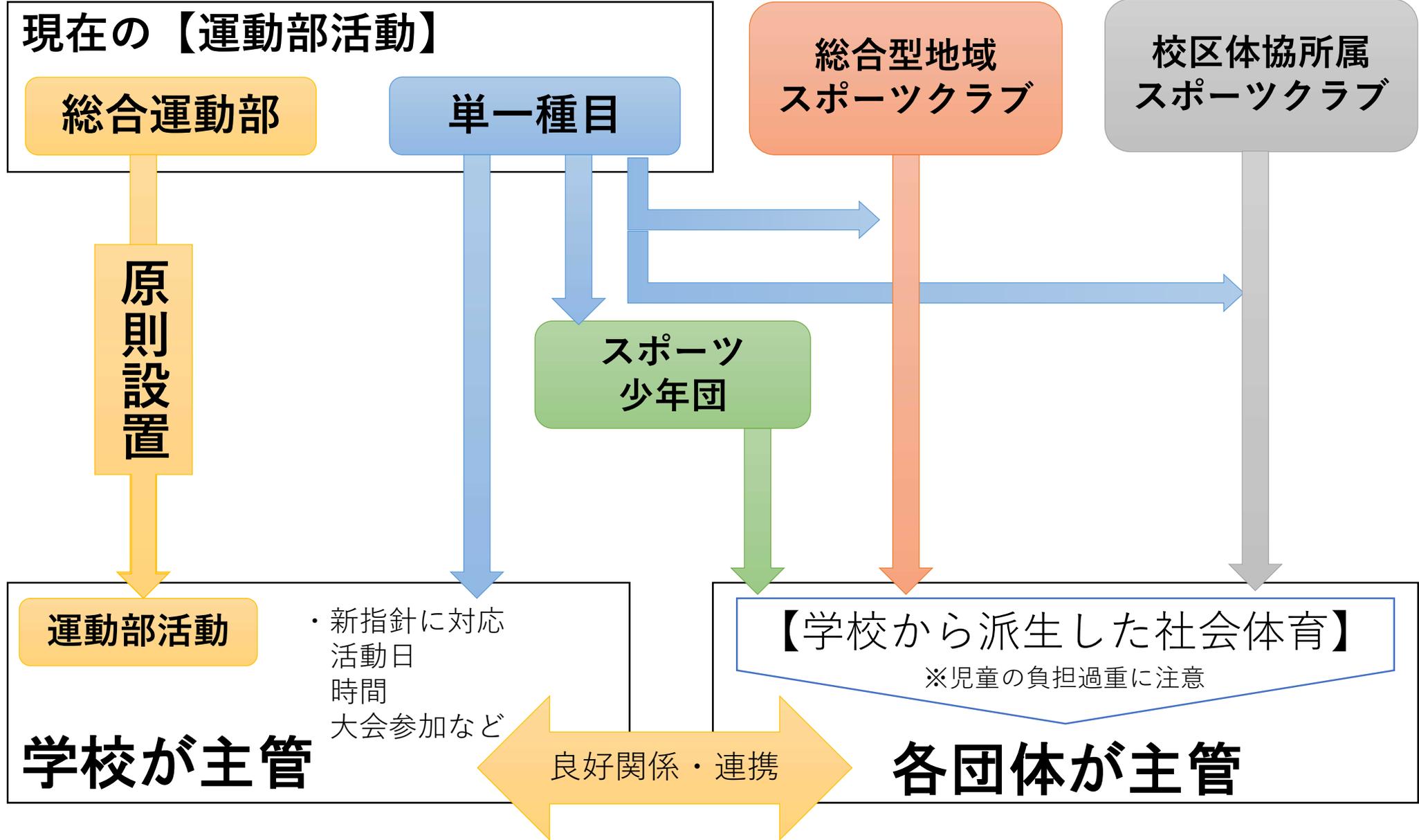
熊本市の取組方針

3. 小学校の教育活動としての意義を踏まえ、より多くの子供たちが活動でき、**年間を通して複数の種目を経験**できるような**総合運動部**の設置をすすめる。
4. 既存の運動部が社会体育としての活動を希望する場合や、地域に受け皿となりうる団体がある場合については、**社会体育の競技クラブへの移行**に向けた取り組みを支援する。

熊本市の取組方針

5. 各学校において「**運動部活動検討委員会（仮称）**」を設置し、取組方針1～4を踏まえ、既存の運動部のあり方を検討・協議し、関係者の共通理解のもとで学校の方針を定め、具体的な取組を進める。

これからの小学校運動部活動のあり方について「熊本市」



クラブチーム

所感

- 小学校の部活動の社会体育への完全移行は**現状難しいが**、今後の予測の上で**仕組は必要。**
- 移行は**長期的な戦略**を立て、市民との意見調整をしながら中学校まで含めた**市内全域のプロジェクト**として進めるべき。
- 指導者の確保と教師の働き方改革は**総合運動部の設置**で両立できる可能性があるため、希望が持てる。*
- 新城、鳳来、作手の**各地の特色を生かした総合スポーツクラブ**を一本化することができれば幅広く市民福祉に貢献できる。

* 総合運動部の可能性

パターンA

4月～9月

曜日	月	火	水	木	金	土	日
担当者	A先生	休	B先生	休	C先生	休※試合や大会	休※試合や大会
種目	バスケットボール		陸上種目		水泳など		

10月～3月

曜日	月	火	水	木	金	土	日
担当者	D先生	休	E先生	休	F先生	休※試合や大会	休※試合や大会
種目	サッカー		スポーツ鬼ごっこ		駅伝		

パターンB

4月～5月 A先生 バスケットボール

6月～8月 B先生 水泳

9月～10月 C先生 サッカー

11月～12月 D先生 駅伝

1月～3月 E先生 スケート

男女で種目を分けたり、小中一貫で実施してみたり、やり方は工夫できる。

来る、小中学校の部活動廃止時代に対応できるように、社会スポーツ移行や総合運動部の設置に向けた「検討委員会」を開設し、市民から広く意見を集約して準備をすることが求められます。熊本市の取り組みをみても、単純に体育協会や担当所管での会議で決められるものではない時代になっている。